

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中央消防署管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	06	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	中央消防署				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	高市 薫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中央消防署職員	意図	中央消防署職員・消防施設の充実強化を図る。
事業内容	市民生活における、安心・安全を守る拠点である中央消防署庁舎の施設、設備及び車両の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市中部地区の防災、救急の拠点施設として活動している。常磐自動車道及びつくばエクスプレスの開通に伴い、管轄区域の防火対象物、人口の増加で都市型形態及び生活環境等の変化が考えられ、都市型災害における消防・救急・救助活動は、一層重要になる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	車両点検回数	36	35	36	回	→→
②	修理回数	39	28	47	回	↓↓↓	中央消防署車両14台
③	消防車両の運用件数	2,829	3,008	2,601	件	↓↓↓	
④	救急車の運用件数	3,035	3,102	3,419	件	↓↓↓	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	消防車両及び消防資機材の定期的な点検を実施し、あらゆる災害等に対し、安全・確実・迅速に活動ができる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防車両にあつては、法定点検を定期的に行っているものの、長期間の使用及び使用頻度が激しいため故障等が発生している。			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	101,065,668	107,248,466	112,355,065				
事業費(b)(円)	4,955,668	6,568,466	6,883,065				
うち一般財源	4,955,668	6,568,466	6,883,065				
職員給与費(c)(円)	96,110,000	100,680,000	105,472,000				
人役・職員(人)	14.00	15.00	16.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防車両及び資機材の適切な点検整備と維持管理を行い、迅速な消防活動に対応するとともに修理等の経費削減に努める。	③取組における課題(Check)	都市化による多種多様な災害に対し、消防活動に必要な車両、資機材の維持管理を行い、迅速な消防活動が求められている。
②H30に実施した取組(Do)	庁舎設備、車両、資機材等の適切な維持管理を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	消防車両及び資機材の適切な点検整備と維持管理を行い、迅速な消防活動に対応するとともに修理等の経費削減に努める。